

さいたま市教組新聞

編集・発行/
さいたま市
教職員組合
〒330-0843
さいたま市大宮区
吉敷町4-93-5
大宮教育会館2F
TEL 641-6763
FAX 648-3567
2022.8.31(水)
No. 280

市の教委は行政としての責任をはたしているのか

公開質問状回答の問題性を問う

さいたま市教職員組合は、7月25日、29日、8月1日と、三度にわたって集合型の各種研修会開催の変更を要請してきました。しかし、市教委は予定通り、集合型研修会を実施したのです。

体育実技研修会（市内全小学校対象）が実施された8月2日は、39℃となる猛暑日で、しかもコロナ感染者最多を更新しました。続く8月3日・4日の自然の教室現地研修では、寝食を共にし、長時間のバス移動もある宿泊型研修も実施されました。こうした研修会に起因すると考えられるコロナ感染事案も発生しています。

そんな中、約300人が対象となる初任者宿泊研修の実施です。しかも、2学期スタートの前々日に帰ってくるという2泊3日の日程です。感染爆発の現状で実施すべきかどうか。初任者の

修では、寝食を共にし、長時間のバス移動もある宿泊型研修も実施されました。こうした研修会に起因すると考えられるコロナ感染事案も発生しています。

そんな中、約300人が対象となる初任者宿泊研修の実施です。しかも、2学期スタートの前々日に帰ってくるという2泊3日の日程です。感染爆発の現状で実施すべきかどうか。初任者の

皆さんの命と健康を危険にさらすことはもちろん、子どもたちへの感染の可能性も含んでいるとは考えないのでしょうか。参加された初任者の気持ちを見無視した施策と言えるのではないのでしょうか。

この事態を重視した市教組は、8月15日（月）朝一番で『コロナ感染急拡大での夏季教職員研修に係わる公開質問状』を市教委に提出しました。

わたしたちは、初任者

教員300人宿泊研修いいの？

新型コロナウィルスの流行「第7波」が収束しない中、さいたま市教育委員会が今月下旬に300人規模の新人教員研修会を2泊3日で予定していることに抗議し、さいたま市教職員組合が15日、福田真由美教育長に公開質問状を提出した。実施の可否を検討したのかどうかを問う。

内容は、市教委は同日の取材に「回答を準備中だ」として、県内では12日に新規感染者が初めて1万人を超え、県教委は同25日付で各市町村教委などに研修のオンライン開催を促す通知を出している。しかし、さいたま市教委は同26、27日、教員300人の指導研究会（4部で計約2000人参加）が今月2日に体育実技研修（約1000人参加）をともに対面で開催している。組合はこれらの前にも3度「非集合型」への変更や中止を市教委に文書などで申し入れていた。

公開質問状では、「参加者の多くが条件付き採用者で、感染不安があっても欠席の理由にするのは難しい」と、新人教員側の立場の弱さを指摘している。

さいたま市教委に組合が抗議

（8月17日 読売新聞）

宿泊研修が8月22日（月）から始まるため、公開質問状の回答期限をこの項目に関しては、8月18日（木）までにと要請しました。市教委は、忙しい中、きちんと期日通り、しかも丁寧な文書で回答しました。その誠意にわ

たしたちは大きな敬意を払いたいと思っております。しかし、この回答を讀み、わたしたちは愕然としました。市教委が教育行政としての責任を果たしていないのではないかと考えるからです。

驚くとともに、その危険性について、教育研究所はどう考えているのでしょうか。この「わきあいあい」は子どもたちにも我慢させてきたことです。しかも「特に」と記す対策は、検温回数を増やすことや密の回避など、すでに誰もが気を付けていることに過ぎません。

「当初計画していた活動を、感染防止対策を徹底する観点からさらに見直すことで、食事や入浴をより小さなグループでローテーションさせたり、宿泊する部屋割りを見直して就寝時に少しでも密を回避したりするなど、極力3密の状態が避けられるような特段のプログラム及び運営方法を新たに計画に位置づけました。」との回答は、仮に研修が実施された際には、多少なりとも感染防止の観点が強化するかもしれませんが、その点では要請した意味があつたといえます。

しかし、実際の部屋割りを見てみると、最大8人部屋だった当初の計画から逆に20人部屋が生まれています。これは特段の配慮といえるのでしょうか。

（2面に続く）

際立つ現状認識の甘さと希薄な安全意識

①本場に『with hコロナ』での実践が可能になったのか...

教育研究所は、現状について「児童生徒や教職員の感染防止に対する意識も高まり、様々な教育活動において『with hコロナ』における実践ができるようになってきたところ」と回答しています。

しかし、回答日の8月18日は新規感染者は25万5千人、その直前2日間の死者数は1日当たり300人を超えており、第6波以前の感染状況とは大きく異なっています。

この第7波の学期末、コロナ感染による教職員不在に苦しんだ職場は決して少ない数ではありませんでした。休んでいる教職員も成績処理等、自

②今、「わきあいあい」する時なのか

さらに驚くことに、回答には、この初任者宿泊研修では「仲間と寝食を共にし、わきあいあいとした中で、互いに抱えている課題を共有することができるとあります。

このコロナ禍において「仲間と寝食を共に」することや「わきあいあいと過ごすこと」を研修のねらいにしていることに

(1面からの続き)
「感染したら各校で工夫を」は責任放棄ではないか
(教職員人事課回答)

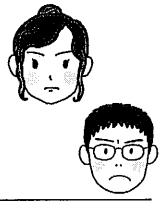
さらに驚いたのが教職員人事課の回答です。「万が一、宿泊研修において初任者が新型コロナウイルスに感染した場合には、小学校では担任外の教職員が当該学級の授業を行ったり、中学校では時間割を入れ替えたりするなど各学校で工夫し、教育活動を推進してまいります。」

まず教育委員会が行うべきことは、初任者や子

どもたちを新型コロナウイルス感染の危険にさらさないことです。この、「初任者が感染したら、誰か別の先生に授業をやらせませうから」という回答は、初任者の命と健康を軽視し、教育行政としての責任を放棄したものです。市教委が、リスクの高い宿泊研修を強行実施して、感染したら学校で工夫して欲しいというのは、あまりに無責任です。教育行政としての責任放棄です。せめて「教育委員会の責任で人を配置します」と回答すべき。それができないなら実施を見送るべきです。

教職員組合に寄せられた

共感の声



公開で質問したもので、その回答は、市教組のTwitterですぐ公開しました。また、組合員が参加するオープンチャットにも公開しました。それらに対して、市教組および組合事務所にはさまざまなお返事が寄せられました。

「もし感染したら」ところ、腹立たしいです。学校は、今までも、できる体制で何とかしてきた。初任者は行く気にならず、用意が進まないと言っていました。男女とも2人の部屋もあるし、20人の部屋もあるそうです。」

が捻くれていたところ、可能性もあるから、もし初任者が感染しても仕方ないとして、その時は各校でうまくやってね」という読み取りをしてしまいます。重症化の割合が多少減少しているとはいえ、死に至る危険もある感染症に対する問い合わせに対し、市教委として

人事を司る立場の人間がこのような回答をしてもよいのでしょうか。」

☆「結局、現場で工夫して教育活動は止めないよという先手方、頑張つてね!というリスクがあるから、集団を集めた研修にも申し込んでいる訳ですよ。歌うな、リコーダー吹くな、って言っているのに、腹立たしい限りです。」

☆「リコーダー10分、歌は2つの教室に分けて15分、みんなで歌うのは一度きりで、コノ字になり、

壁に向かって歌い、残り時間かいて学習、授業のねらいや充実もなく、感染対策のために成果のあがらない授業を意に反してやっているのがバカらしくなっています。300人より10分の1の30人の人数でも感染させない工夫しているのに、2泊3日300人って、どう考えても常識はずれです。」

☆「主語が『初任者』ではなく、『児童生徒』であった場合、このような表現は決して許されない

と思います。『感染リスクがあっても宿泊行事やりますね。対策はするけど、児童生徒が感染したら仕方ないから、その時はかかってない子から授業のノート見せてもらったり自習したりして工夫してね』なんて絶対言えないと思います。」

☆「日々、さまざまな対策をして、教育活動を行ってきた現場の人間に対し、『感染しても仕方ない』と思わせるような発言はやはり納得できません。」

初任者からも

☆「これだけ感染者が増えているので中止になると思っていました。」

☆「始業式直前の研修に不安を覚えます。」

☆「8人部屋です。感染が怖いです。」

☆「初任者という立場では何も言えません。」

残りの要請項目についての回答は8月25日(木)にありました。詳細報告は次号で

コロナ感染急拡大(第7波)での夏季教職員研修に係る公開質問状について 令和4年8月18日付	
No	質問
1	市教委が集合型の研修を実施し続ける中で、研修会に起因したと思われるコロナ感染が発生した。今後の研修、とりわけ将来を担う大切な教職員を感染の危険にさらすことはあってはならないと考えるが、「初任者宿泊研修」について実施の可否を検討したのか。ここで感染が起これば2日後の二学期開始時に児童生徒への感染も考えられるという認識はあるのか。特段に加えた感染対策や内容・日程の変更があるのか。また、感染が起きた場合各学校の人員不足をどのように補うのか。
	回答
	<p><教育研究所></p> <p>今般のコロナ禍においては、どのようにすれば児童生徒の学びを止めることなく教育活動を実施することができるか、教育委員会としても様々な試行錯誤を重ねてまいりました。Withコロナにあっても、感染防止に留意しながら今できること、やらねばならぬことを、日常的に検討し、工夫しながら、さいたま市の教育活動を推進してきたところです。このことは、児童生徒を教える、その成長に大きく影響を与える教職員に対する研修の実施についても同様でございます。令和元年度末以来のコロナ禍も2年半を教え、現在では児童生徒や教職員の感染防止に対する意識も高まり、基本的な感染症対策も定着し、様々な教育活動において「Withコロナ」における実践ができるようになってきたところでございます。</p> <p>さて、御質問いただいた初任者研修についてでございますが、教育委員会で行っている様々な研修の中でも、特別な意味をもつ研修であると捉えております。「教員になりたい」という夢と希望をもって初めて教壇に立つ初任者が、様々な知識のみならずかけがえのない仲間を得る場として、少しでも効果的な研修となるよう、教育委員会でも工夫を凝らして実施しております。しかし、中には、様々な課題を抱え、心身に不調をきたしてしまう初任者もいます。抱えている課題を乗り越えるためには、職場における肯定的な同僚性が大切となりますが、今般のコロナ禍によるコミュニケーションの希薄さから、好ましい人間関係が築けていない状況があることは、喫緊の課題であると認識しております。</p> <p>そこで、教育委員会では、今回の宿泊研修についても、より安全で効果を期待できる方法について検討を重ね、初任者同士のチームビルドを図るため、本研修を計画に至りました。本研修では、学校を離れ、大自然に囲まれた環境において、仲間と寝食を共にし、和気あいあいとした中で互いに抱えている課題を共有することができます。昨年度の宿泊研修実施後の初任者からも「最初に感じていたネガティブな感情を忘れ、最終日には名残惜しさを感じています。」「全く知らなかった先生方とチームを作り、協力して活動できたことやコミュニケーションを図れたことは、これからの教員生活で必ずプラスになると思います。」等、同僚性の高まりを感じさせる感想が寄せられており、研修の成果が現れたものと認識しております。今年度においても、本研修を通して初任者の同僚性を高め、意欲をもって二学期を迎えられることを期待しているところでございます。</p> <p>また、世界基準から大きく遅れをとっていた学校教育におけるICT環境が、今般のコロナ禍により、GIGAスクール構想として一気に整備されたことで、本市においても、デジタルの優位性を活用したオンラインによる教育活動や研修等が広く普及いたしました。とりわけ、オンラインによる研修等を重ねる中で、時間や空間を超えて繋がることや、蓄積されたデータや情報の共有など、その利便性を享受しているところですが、同時に、リアルな体験を伴う対面による研修等の価値についても改めて認識しているところでございます。</p> <p>Withコロナ時代の研修の在り方は、内容に応じて対面とオンラインを使い分けること、そして、当然のことながら、対面形式の研修については感染防止対策を徹底することが大切であると考えております。教育委員会では、宿泊研修の2日後の二学期開始時に児童生徒への感染を防止する意味からも、感染防止対策を十分に講じた上で、今回の宿泊研修を実施いたします。具体的な感染防止対策については、「さいたま市『修学旅行等実施におけるガイドライン』(第3版)」や「国立赤城青少年交流の家における新型コロナウイルス感染症拡大予防ガイドライン」に基づき、管理・指導を徹底いたします。特に、体調管理については、出発前や活動の合間などに、本人による検温に加えて、担当職員による非接触型の体温計を用いた検温の機会を多く設定いたします。その他にも、当初計画していた活動を、感染防止対策を徹底する観点からさらに見直すことで、食事や入浴をより小さなグループでローテーションさせたり、宿泊する部屋割りを見直して就寝時に少しでも密を回避したりするなど、極力3密の状態が避けられるような特設のプログラム及び運営方法を新たに計画に位置付けました。</p> <p>宿泊研修を終えた初任者が、充実感と高められた同僚性により、安心感と意欲をもって二学期を迎え、教員としてさらに成長する礎となるよう、教育委員会一丸となり、この宿泊研修を成功に導きたいと考えております。</p> <p><教職員人事課></p> <p>万が一、宿泊研修において初任者が新型コロナウイルスに感染した場合には、小学校では担任外の教職員が当該学級の授業を行ったり、中学校では時間割を入れ替えたりする等、各学校で工夫し、教育活動を推進してまいります。</p>

公開質問状の回答(質問1のみ)